

「ひろしま住まいづくりコンクール 2023」プレゼン資料作成の注意

- 資料は、以下の内容を盛り込み、A3横長使い2枚以内で作成してください。
 - ・ 設計意図を表現するもの（方位を記した図面、パース、ドローイング、CGなど）
 - ・ 施工状況や住まい方が分かる写真
(リフォーム部門、空き家再生部門は施工前の写真も含む)
 - ・ 敷地の周辺環境が分かる写真や位置図（撮影位置を明記すること）
- 建築主、設計者、施工者などが特定できる情報を記載しないでください。
(社名、ロゴマークなど)
- 使用する写真には実際と異なる修正等を行わないでください。
- プレゼン資料の右下は、文字等を書かず、空けておいてください。
- 2枚以上になる場合は、ページ番号を記入してください。

<作成例>

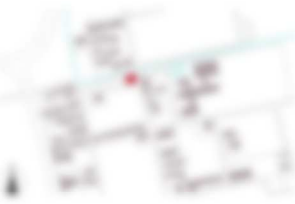
<タイトル>			
<コンセプト> ※作品の概要	<配置図> ※周辺状況が分かるもの	<平面図> ※間取りがわかるもの ※方位を明記すること	<創意工夫点>
<CG・パース・ドローイング等>	<写真> ※施工状況や住まい方、周辺環境が 分かるもの等 ※リフォーム前の写真		<エピソードや アピールポイント> ※作品に込めた思いや 創意工夫点、施主との やりとりなど
ページ番号			文字等を書かず、 空けておくこと H:20mm W:40mm程度

2021年度の受賞作品
 【県知事賞，法成寺（ほうじょうじ）の家】



法成寺の家

法成寺の境内に、古くは僧侶の住居として建てられた家。現代の生活に合わせた改修が行われ、伝統的な建築様式と現代の建築技術が融合した家となった。建物は、伝統的な木造建築の要素を継承しつつ、現代的なデザインと機能性を兼ね備えている。また、周囲の自然環境と調和を取り、景観に溶け込むように設計されている。



この家は、伝統的な木造建築の要素を継承しつつ、現代的なデザインと機能性を兼ね備えている。また、周囲の自然環境と調和を取り、景観に溶け込むように設計されている。改修工程では、既存の構造を最大限に活用し、新しい空間を創出することで、歴史と現代の架け橋となる家を実現した。



この家は、伝統的な木造建築の要素を継承しつつ、現代的なデザインと機能性を兼ね備えている。また、周囲の自然環境と調和を取り、景観に溶け込むように設計されている。改修工程では、既存の構造を最大限に活用し、新しい空間を創出することで、歴史と現代の架け橋となる家を実現した。

この家は、伝統的な木造建築の要素を継承しつつ、現代的なデザインと機能性を兼ね備えている。また、周囲の自然環境と調和を取り、景観に溶け込むように設計されている。改修工程では、既存の構造を最大限に活用し、新しい空間を創出することで、歴史と現代の架け橋となる家を実現した。

この家は、伝統的な木造建築の要素を継承しつつ、現代的なデザインと機能性を兼ね備えている。また、周囲の自然環境と調和を取り、景観に溶け込むように設計されている。改修工程では、既存の構造を最大限に活用し、新しい空間を創出することで、歴史と現代の架け橋となる家を実現した。

2021年度の受賞作品

【リフォーム部門 最優秀賞, Old & New 古くて新しい古民家のカタチ】



Old & New 古くて新しい古民家のカタチ

この家は、江戸時代中期に建てられた、約200年もの歴史を誇る古民家です。建物は、土蔵造りの木造で、瓦葺きの屋根が特徴です。現在は、伝統的な要素を大切にしながら、現代的な生活スタイルに合わせて、全面的にリフォームされています。特に、断熱性能の向上や、照明の入れ替え、キッチンやバスルームの最新の設備への更新が、快適な暮らしを実現しています。また、外観も、元の風情を残しつつ、現代的なデザインを取り入れ、新旧の融合が感じられる空間に仕上がっています。



この家は、江戸時代中期に建てられた、約200年もの歴史を誇る古民家です。建物は、土蔵造りの木造で、瓦葺きの屋根が特徴です。現在は、伝統的な要素を大切にしながら、現代的な生活スタイルに合わせて、全面的にリフォームされています。特に、断熱性能の向上や、照明の入れ替え、キッチンやバスルームの最新の設備への更新が、快適な暮らしを実現しています。また、外観も、元の風情を残しつつ、現代的なデザインを取り入れ、新旧の融合が感じられる空間に仕上がっています。



古民家の造り - 暮らしをアップデート

この家は、江戸時代中期に建てられた、約200年もの歴史を誇る古民家です。建物は、土蔵造りの木造で、瓦葺きの屋根が特徴です。現在は、伝統的な要素を大切にしながら、現代的な生活スタイルに合わせて、全面的にリフォームされています。特に、断熱性能の向上や、照明の入れ替え、キッチンやバスルームの最新の設備への更新が、快適な暮らしを実現しています。また、外観も、元の風情を残しつつ、現代的なデザインを取り入れ、新旧の融合が感じられる空間に仕上がっています。



この家は、江戸時代中期に建てられた、約200年もの歴史を誇る古民家です。建物は、土蔵造りの木造で、瓦葺きの屋根が特徴です。現在は、伝統的な要素を大切にしながら、現代的な生活スタイルに合わせて、全面的にリフォームされています。特に、断熱性能の向上や、照明の入れ替え、キッチンやバスルームの最新の設備への更新が、快適な暮らしを実現しています。また、外観も、元の風情を残しつつ、現代的なデザインを取り入れ、新旧の融合が感じられる空間に仕上がっています。

2021年度の受賞作品

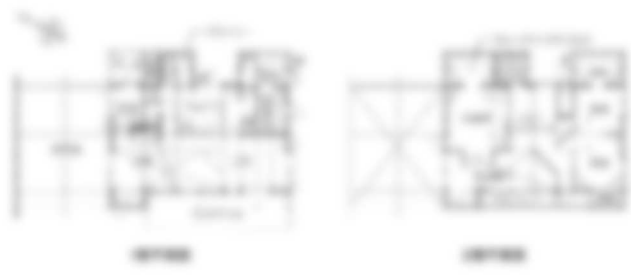
【新築部門 最優秀賞, 里山でおおらかに暮らす家】



里山でおおらかに暮らす家

- 01 建築主は、自然素材を活かした家づくりを希望し、自然と共生できる家づくりを希望された。
- 02 自然素材を活かした家づくりを希望し、自然と共生できる家づくりを希望された。

建築主は、自然素材を活かした家づくりを希望し、自然と共生できる家づくりを希望された。自然素材を活かした家づくりを希望し、自然と共生できる家づくりを希望された。



床	杉板	壁	珪藻土
天井	珪藻土	窓	木製
柱	杉	扉	木製

建築主は、自然素材を活かした家づくりを希望し、自然と共生できる家づくりを希望された。自然素材を活かした家づくりを希望し、自然と共生できる家づくりを希望された。



2021年度の受賞作品

【空き家再生部門 最優秀賞, 上条 (sorajo) の家 海が見える山の家】

上条(sorajo)の家

建築士 藤原 隆雄

建築事務所 藤原建築設計事務所

所在地 山形県 上条町

竣工年 2019年

延床面積 1,200㎡

この家は、山形県上条町に位置する山の中にある。周囲は緑豊かな山々に囲まれ、海が見える絶好のロケーションにある。この家は、空き家再生プロジェクトの一環として、古くからの木造住宅を改装し、現代の生活に合わせた空間を創出した。建築士 藤原 隆雄、建築事務所 藤原建築設計事務所が手がけた。この家は、自然と調和し、開放的な空間を創出した。大きな窓からは、美しい山景と海を一望できる。また、伝統的な木造建築の要素を大切にしながら、現代の生活に合わせた空間を創出した。この家は、空き家再生プロジェクトの一環として、古くからの木造住宅を改装し、現代の生活に合わせた空間を創出した。建築士 藤原 隆雄、建築事務所 藤原建築設計事務所が手がけた。この家は、自然と調和し、開放的な空間を創出した。大きな窓からは、美しい山景と海を一望できる。また、伝統的な木造建築の要素を大切にしながら、現代の生活に合わせた空間を創出した。